

経営比較分析表（平成29年度決算）

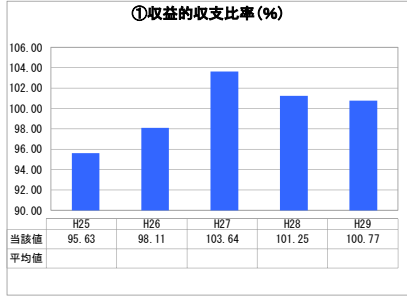
兵庫県 朝来市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	24.17	89.55	3,083

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
31,053	403.06	77.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,457	2.60	2,868.08

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



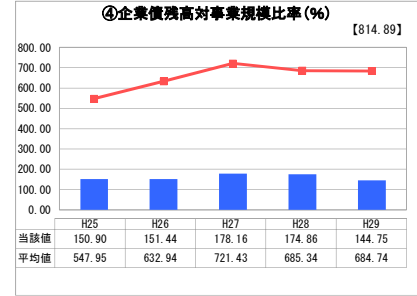
「単年度の収支」



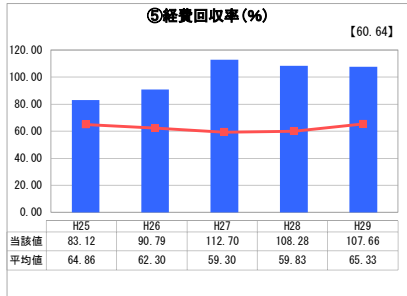
「累積欠損」



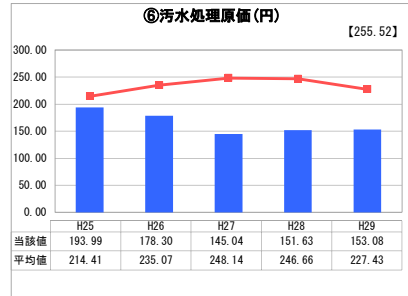
「支払能力」



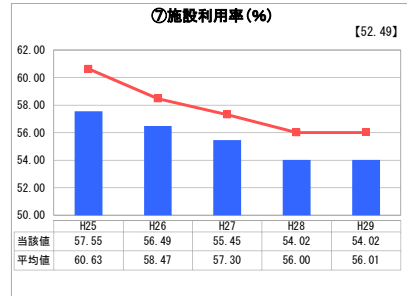
「債務残高」



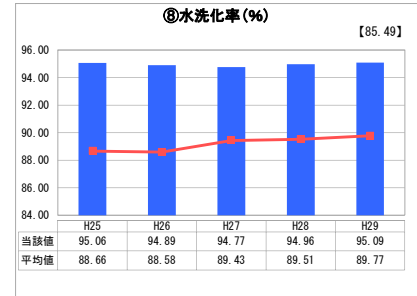
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

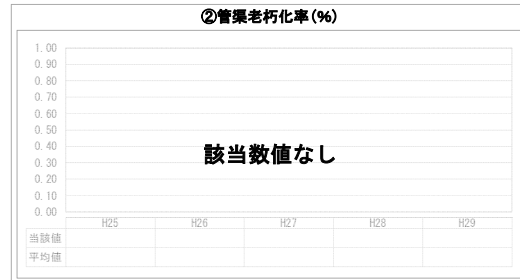


「使用料対象の捕捉」

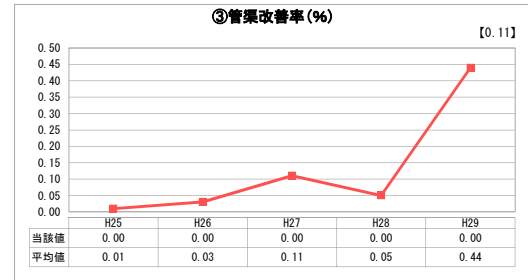
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

【単年度の収支】
収益的収支比率は100%を超えてはいるものの、更新投資等に充てる財源が充分とは言えない為、更なる費用削減が必要である。

【債務残高】
企業債残高対事業規模比率は、平均値を下回っているが、老朽化する施設の更新時期が重なってくることに伴い、今後は上昇に転じることも予想される。

【料金水準の適切性】
経費回収率は、100%を超えているものの、更新投資等に充てる財源確保のためにも、更なる費用削減が必要である。

【費用の効率性】
汚水処理原価については、全国平均値を下回っているが、更なる維持管理費の削減に努める。

【施設の効率性】
施設利用率は、徐々に下がって来ているので必要に応じて施設の統廃合を行い、適切な施設規模を維持していく必要がある。

【使用料対象の捕捉】
水洗化率は過去5年間、類似団体平均値を大きく上回っている。

2. 老朽化の状況について

最も古い施設では昭和60年12月の供用開始以来30年以上が経過し、施設の老朽化が進行しているため、長寿命化計画と施設状況を精査し、計画的に施設更新を行う必要がある。

全体総括

本市の農業集落排水事業は、使用料収入の大幅な伸びが期待できない状況にある一方で、施設建設から相当の年月が経過しており、施設の老朽化が進行している。

そのような中、施設の長寿命化、予防保全、維持管理、施設更新を強化する必要があり、引き続き厳しい状況にある。

以上のようなことから、旧町及び事業種別を超えた処理区の統廃合を視野に入れた事業推進を行い、経営の効率化を図っていくことが必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。